

どのような仕事をしています/していましたか？（複数回答可）	あなたの経験をもとに、立ち仕事に関する不満を教えてください。
接客（アパレル・商品販売等）	座ることも靴を脱ぐことも許されないので、最終的に体力がもたずやめてしまうことが多かったです。
町工場での加工作業	1時間毎ぐらいに数分の休憩をさせてもらえてたので、特に不満は有りませんでした。たぶんこれは珍しい例だと思います。因みにその理由は、疲れて事故や怪我を起こさないためでした。
接客（アパレル・商品販売等）、介護施設	接客の時は疎か、それ以外の時間であっても休憩時間以外は立ちっぱなしの状態で、足の浮腫も酷く着圧ソックスを履いていても軽減できるものではありませんでした。働く側の健康維持が保証されない場所で長く働く気にはなりません。働き方改革の一環として留意される点であると思います。
軽作業	腰痛、足が痛くなる
レジ（スーパー）、接客（アパレル・商品販売等）	膝や腰などを痛めると長時間立っていられなくなり、仕事に従事できなくなりました。
接客（アパレル・商品販売等）	休むほどではないけど体調が悪い時に座れないととても辛い。健康な時でも長時間立っていることで疲労が解消されず続けるのは長く厳しいと感じた。
レジ（スーパー・コンビニ以外）、	長時間立たねばならない仕事ならば、休憩時間をこまめにとらせてほしい。
パチンコ・スロット店員	一度腰痛になってしまうと治る事はなくその状態と付き合いしていくしかない。 そして『立ったまま(もしくは座ったまま)』はその状態になる可能性を大いに秘めていて、実際に自分を含め何人もの同僚が腰痛により立ち仕事を引退している。 つまり、立ち仕事が悪い訳ではなく「座る時間がない」や「座る事が許されない」状況がよくないと思う。 休憩時間を除いて仕事中に少しも座れない、そんな状況に不満を持っている。
接客（アパレル・商品販売等）、以前、40年ほど小学校教員	どんな姿勢であれ、ずっと同じ姿勢というのは身体に良いことではない。座りっぱなしの仕事も腰への負担は大きく腰痛の大きな原因となっている。小学校の教員時代も立っていることが多かったが椅子はあり、座って仕事をする事も出来た。現在は飲食業のためやはり立ちっぱなしが多いが自由度があり暇なときは座ることも出来る。余裕があるときには座っても良い（座り仕事の人には、反対に立っても良い）という自由を働くものに選ぶことが出来るようにするべきと思う。警備や交通整理の仕事をしている方たちも寒暖を選ぶことも出来ず立ちっぱなし、車や人が来なくてもずっとという風景を見るが、仕事さえ責任をもって出来るならばもっと自由な仕事ぶりで良いように思う。

レジ（スーパー）	2時間から3時間レジに立ちっぱなしだと膝が痛くなります。1時間交代の義務化と労災適応をお願いしたい
接客（アパレル・商品販売等）	過去に立ち仕事をしていましたが、日々の業務の中で椎間板ヘルニアとなり、長時間の立ち作業ができない身体となってしまいました。それにより職業選択の幅がとて狭くなっています。座った状態でも業務に支障が出ない仕事も多いはずですが。私のように身体を痛めている方や、健康な方にとっても、身体への負担を減らし働きやすくなると思います。
看護師	患者さんへのケアは動いている中なのですが。 ●食事への援助が必要な場合は、患者さんにゆったり向き合う、視線の高さを同じにするという意味からも、いすに座ったほうが適しています。ただし、看護師側の椅子の高さが調整できるものがあれば、作業効率も上がり、職業病にもならないと思います。（現実的には、高さ調節できる椅子は少なく、あったとしても看護師もその場で固定ではないので、また、看護師の人員も少ないので、適切網高さに調整しないで業務をこなしている。 ●勤務者から勤務者への申し送りの場面、50年前は立っていたが、ナースステーションで行う場合は、座って行うのが一般的になっている。
レジ（スーパー・コンビニ以外）	重心が右に傾いている為右足の踵が特に痛くなってしまい立っているのが辛く感じます。
レジ（コンビニ）, 接客（アパレル・商品販売等）	休憩時間が短い
学校の教員	不満はなかったです。なぜなら、授業中は、多くの場合、立って仕事をしますが、椅子が用意してあるので、疲れたら座ることができたからです。
接客（アパレル・商品販売等）	パンプスを履いて1日中立っていると足が重苦しくむくむ
レジ（スーパー・コンビニ以外）, 接客（アパレル・商品販売等）	外国のお店で従業員が座ったり、何かしながら接客しているのを見て、同等でいいなと思った。それでよいと思う。
保育園乳児食給食室	ふくらはぎがパンパンになり解すのが大変で40歳代にもなると翌日足の疲れが残る。
接客（アパレル・商品販売等）	旅行券の引き渡しや、案内業務で立って接客していたが脚がむくみ、疲労感が強かった。 座って対応できる内容であれば、あえて立って、対応することはない。お客様の目の位置と不自然を感じる場合は椅子の高さで調整すればよい。 スポーツジムの受付でスタッフが立って対応しているが、座って対応しても（私が客）別に不便を感じない。過剰なサービスは不要。

飲食店のホール係	接客してない時は、座っていたかったです。
区分口の仕事	腰・足に負担あり、それを通りすぎると頭・肩・脳に打撃あり。
接客（アパレル・商品販売等）	足が痛くて足の痛みを和らげることに意識が行ってしまう。
接客（アパレル・商品販売等）	ヒールで8時間立ちっぱなしだったため、仕事終わりに歩いて帰宅することが辛かったです。休憩中はいつも靴を脱いで少しでも足を休めようとしてましたが焼け石に水でした。接客の仕事自体は好きですが、立ち仕事他労働環境が改善されない限りまた仕事に就きたいとは思えないです。
接客（アパレル・商品販売等）	休憩時間以外水を飲むことができない、レジ担当のときは座ることができない
レジ（スーパー）、介護業界	仕事中の待ち時間も立ちっぱなしである。一息の休憩で座れない。腰、足が疲れる。
接客（アパレル・商品販売等）	お店が空いているときはただ無意味に立っているの、なんのために脚が痛いのを我慢してるかわからない。脚が痛くて集中力が下がる。足の痛みやむくみ対策に着圧ソックスや靴、湿布にお金をかけているが、職場の都合で負った体調不良に自分の給与を使っていることに疑問を覚える。接客しているとき以外の、レジ打ちのときだけでも座れたらとても働きやすくなる。
居酒屋の接客とキッチン	腰が痛くなって、バイト終わってから整体に行ったりしていました
レジ（スーパー・コンビニ以外）	ファストフード店でレジと商品の包装の仕事をしており、仕事ではずっと立っていました。特に疲れた時や体調の優れないとき、生理のときに立っているのは苦痛でした。高校生の同僚が生理のときに壁に寄りかかって立つのがやっとなという状態で仕事をしていてとても辛そうでしたし、見ているのも辛かったです。座ってよければあんなに辛いことにはなっていないと思います。かといって座り込んだり壁に寄りかかったりすることは店側に注意されますし、多少の体調の悪さでは休む訳にもいきませんでした。忙しいときでも立っている必要はないと思いますが、客が少ないときやいないときもずっと立っていなければならなかったのは余計に理解に苦しみます。
レジ（スーパー・コンビニ以外）、接客（アパレル・商品販売等）	お客さんがいる時ならまだしも、お客さんがいないカフェでずっと勤務中立ったまま、在庫管理などをパソコンでしているのが大変疲れました。
レジ（スーパー・コンビニ以外）	飲食店でレジをしていた際、客が絶えず支払いに来るわけでもないのにずっと立っていなければならず、脚が疲れたし眠たかった。
レジ（コンビニ）	接客以外の時間にも立ってはいくてもいけないという暗黙の了解があり、それはなんの合理性もない、ただただ従業員を疲弊させるだけの悪習です。この文化は根絶されるべきです。
チェーン飲食店のキッチン／配膳	腰が痛い
レジ（スーパー・コンビニ以外）	お客様がいらっしゃる時は立っていた方がいいが、空き時間の疲労が勿体無い。

レジ（スーパー）、警備員、接客（アパレル・商品販売等）	無意味な疲れを感じる。この疲れがなければもっと良い接客ができるのにと感じたことは多いです。日本のあらゆる会社は、無意味なルールを見直すべきだと思います。
接客（アパレル・商品販売等）	何時間も、客がいない時でも立ったままで、「足が棒のようになる」と言う比喻を身をもって感じました。
生活支援員	業務上、座ることは良くないと思っていた
接客（アパレル・商品販売等）、JRの自動改札導入前の改札でのキップ切り回収	足の裏が痛く成ったり、就寝足が攣る
レジ（スーパー）	過去に派遣で年末年始の繁忙期にスーパーの食品レジで働いていたことがあります。 4～5時間ほど立ちっぱなしのレジ業務はとてもきつかったです。 足が突っ張ったり浮腫んだりして大変でした。
接客（アパレル・商品販売等）	デスクワークと同等の休憩時間では負担が大きいので、2時間に一度くらいは小休憩が欲しい。
レジ（スーパー・コンビニ以外）、区立図書館窓口	図書館バイトを始めた時、係員が座っているのが偉そうだとこの区民意見で撤去されたと聞きました。触らぬ神に祟りなし的な行政側の姿勢を感じました。 あと、高校まで座って授業受けてた身に、大学入ってケーキ屋さんでバイト始めたその日からレジで6時間立ちっぱなしは辛かったです。 海外に行った時にレジの人達が座ってていいなって思いました。アメリカでは係員がジュース飲んでたりするとか。 やることやってたら良いと思います。仕事大変なんだから息抜きしながらやらないと。日本の店員さん優しいし。客と店員（やってもらおう&やってあげる）の関係以上のところに目くじら立てる風習がなくなると良いなと思います。
大学での講義	90分のあいだ、立ちはなしで講義をおこなうことがつらくなり、受講生に断りを入れて、椅子に座ることにした。立ち仕事でも、途中で「座る行為」を入れることで、下半身の疲労が減少することを、実感できた。
教員	現在海外に住んでいるので、日本との違いをよく感じます。日本にいる時、立っていることが多くてかなりの体力を消耗しました。子どもの迎えや帰宅に電車やバスでも満員でずっと立つことが多い中、こんな状態が一日ずっとだと、疲労があまりに積み重なって、家に着くなり座り込んで立てなくなる時もありました。労働者のウェルビーイングを考えることは雇用者側の義務だと思います。立ってなくても仕事ができる状態であれば、座る場所や座ってられる時間を、一定分は雇用側が用意すべきだと思います。
接客（アパレル・商品販売等）	店内に顧客がいない場合でも、絶えず立ち姿勢でのスタンバイ並びに店内の巡回などを求められ、防犯カメラで勤務態度もチェックされており、勤務後には2時間以上、脚部のむくみを取るためのストレッチが欠かせない。もちろんその時間は業務外に成る為、給与は発生せずにメンテナンスを怠ると、極端に生産性が落ちてしまう。